



2018年1月31日

## 電子レシートの社会インフラ化実証実験に参画

～レシートデータと家計簿の自動連携や IoT データ×レシートデータを使った購買情報分析等について実証～

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ CCS

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ CCS(東京都品川区、代表取締役社長:笹田和宏、以下:NTT データ CCS)は、東芝テック株式会社(以下「東芝テック」)が、経済産業省及び国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)より「IoTを活用した新産業モデル創出基盤整備事業」の一環として委託を受け実施する、「電子レシートの標準データフォーマットおよび API に対応した電子レシートプラットフォームの実証実験～個人を起点とした購買履歴の活用による消費者理解の向上を目指す～」に参画します。

本実証実験は2018年2月13日から2月28日までの間、町田市内の業態の異なる小売店舗(ミニストップ株式会社、ウエルシア薬局株式会社、株式会社ココカラファイン、株式会社東急ハンズ、株式会社三徳、株式会社銀座コージーコーナー)において実施されます。この中でNTT データ CCS は、購買履歴データを格納するデータセンターやデータを分析する基盤システム、スマートフォン用アプリの開発などを担当します。

本実証実験において、NTT データ CCS は、生活者視点に立った社会インフラ構築の一役を担い、新しい価値・サービス創造に向けて挑戦します。

### 【背景】

成熟化された現代では、消費者それぞれが選好を多様化させるため、消費者一人一人をしっかりと理解しなければ消費を拡大させることが難しくなっており、この課題を解決する手段として、レシートの電子化が期待されています。

レシートを電子化し、消費者一人一人が電子レシートを蓄積することができるインフラを構築することができれば、個人の買い回りの状況までを見通すことができるようになります。当該データは、小売店舗の枠を超えた個人の消費内容を指し示す貴重な情報となるため、消費者自身が起点となって電子レシートデータを提供してもらうことができれば、正確な消費者理解に基づく商品開発やサービス提供が可能となるほか、電子化されたレシートデータに気象データや実店舗のセンサーデータなどの IoT データを組み合わせることで、今まで見えなかった新たなニーズを見つけることができます。

NTTデータ CCS はこれまでたくさんのお客様と係わることにより、EC 関連システム構築や空間情報処理、科学技術計算やビッグデータ処理等の高度な技術力やノウハウを育んできました。そしてこのたび、新たな価値を生み出す社会インフラ構築の一役を担うことを目指し、本実証実験に参画することとしました。

### 【実証実験について】

本実証実験では業種、経済産業省が策定する電子レシートの標準規格の検証作業として、業態の異なる小売店舗における、プラットフォーム化した電子レシートの有用性を検証します。電子レシートのプラットフォーム化には、東芝テックが運営している電子レシートシステム「スマートレシート®」<sup>(注1)</sup>をベースに、電子レシートの標準データフォーマットおよび API を実装した電子レシートシステムを使用します。

NTTデータ CCS はさまざまなパートナー企業とともに、購買履歴データを格納するデータセンターやデータを分析する基盤システム、そしてスマートフォン用アプリの開発などを担当します。

なお、個人情報保護の観点から利用者本人がデータを提供する際、自らの個人情報を保護(マスク処理)できる仕組みとしてプライバシーポリシーマネージャー(PPM)を搭載しています。<sup>(注2)</sup>

- 1) 期間: 2018年2月13日から2018年2月28日 実施時間: 各店舗の営業時間
- 2) 場所: 東京都町田市内の参加企業店舗
- 3) 主催: 経済産業省 商務情報政策局 商務サービスグループ 消費・流通政策課
- 4) 目的: 個人を起点とした購買履歴の流通による消費者理解の向上に向けた課題整理

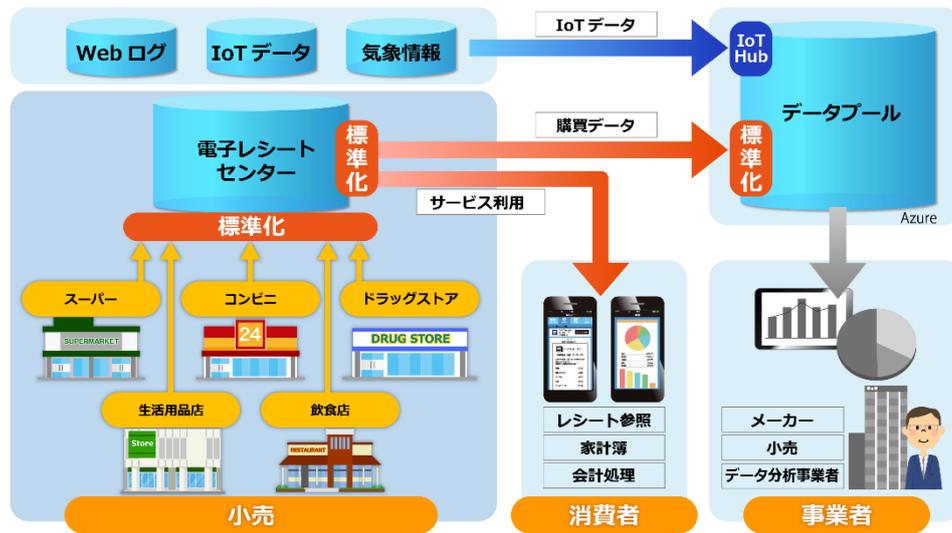


図 1: 実証実験のイメージ



図 2: 実証実験の店舗/スマートフォンの画面イメージ

### 【実証実験の内容】

- 1: 同一商圈内の業種業態の異なる複数店舗に電子レシートを導入し、消費者がどの店舗で買い物をしても、標準フォーマット・標準 API を利用した電子レシートを、受け取ることができます。
- 2: 消費者が自身の判断で電子レシートデータ提供の意思決定を行い、データ提供を行った際には家計簿管理、健康管理アプリケーションなどのサービスが便利に利用できます。
- 3: 消費者が提供するデータは、消費者自らの設定により提供データがマスク処理されるため、消費者の意に沿わないデータ流出を防止できます。
- 4: 気象データや実店舗のセンサーデータなどのさまざまな IoT データを収集 (Azure IoT Hub<sup>(注3)</sup>を使用)して、電子レシートデータと組み合わせることで分析できる環境が提供可能になります。
- 5: 電子レシートを利用した各種サービスの提供やデータの活用を目指す企業においては、電子レシートの標準データフォーマットおよび標準 API に対応することで、さまざまなサービスを効率的に構築することができます。

\* 1: 今回の実証実験のために実装された機能であり、今すぐ商品化されることを保証するものではありません。

### 【今後について】

電子レシートデータと組み合わせた新しいサービスとして、株式会社マネーフォワード様や大日本印刷株式会社様との協業により、購入履歴データを家計簿アプリと連動させるサービスとの連携が予定されています。また、SNS をベースに決済との連動を見据える LINE 株式会社様や IoT を担当する日本ユニシス株式会社様との協業により、店内カメラ

と連動した詳細な購買行動履歴を AI により解析してニーズを掘り起こすなど、データ活用を見据えた新たなサービス創出に向けた取り組みを加速していきます。

なお、経済産業省からは新しいサービス創出に向けたコンテストも開催される予定 (<http://meti-appcontest.go.jp/>) で、当社はこれに参加します。

当社は、創立50周年を迎える2020年に向け「世の中になくてはならない会社」を目指し、新しい価値・サービス創造を生み出すべく、挑戦していきます。

## 【参考】

### ■実証実験参加企業

委託事業者： 東芝テック株式会社

店舗協力： ミニストップ株式会社

ウエルシア薬局株式会社

株式会社ココカラファイン

株式会社東急ハンズ

株式会社三徳

株式会社銀座コージーコーナー

システム協力：富士通株式会社

株式会社ヴィンクス

株式会社ソリマチ技研

株式会社ジャストプランニング

株式会社インテージ

株式会社NTTデータ CCS

クラウド/IoT：日本マイクロソフト株式会社

日本ユニシス株式会社

東京エレクトロンデバイス株式会社

スマホアプリ：株式会社マネーフォワード

大日本印刷株式会社

アドウェル株式会社

クラウドキャスト株式会社

LINE 株式会社

グランドデザイン株式会社

協力企業：トライアルホールディングス株式会社

株式会社 KDDI 総合研究所

アイレット株式会社

協力団体：.NET 流通システム協議会

一般社団法人オープン・フードサービス・システム・コンソーシアム

一般社団法人 XBRL Japan

一般社団法人 Fintech 協会

町田市

(注 1) 東芝テックが開発したスマートレシートは、通常は紙として提供される買い上げ商品の明細レシートを電子化し、電子レシートセンターがデータとして預かり、買い物客が自分のスマートフォンですぐにレシート内容を確認することができる仕組みです。電子化によるペーパーレスで、買い物客は手元に紙のレシートを残さずともスマートフォンで自分の買い物履歴を確認できます。導入店舗は買い物客への利便性を向上させるとともに、紙レシート発行コストや環境負荷を減らすことができます。

(注 2) 株式会社 KDDI 総合研究所が開発されたプライバシーポリシーマネージャー (PPM) は、利用者自身が定めたポリシーに応じて、パーソナルデータの流通制御やマスク処理、利用同意支援、提供状況の可視化機能などを提供する仕組みです。本実証実験では、個人情報やレシート情報のマスク処理機能、提供状況の可視化機能、わかりやすい利用規約を提供します。なお、本機能は今回の実証実験のために実装された機能であり、今すぐ商品化されることを保証するものではありません。

(注3)マイクロソフトのクラウドプラットフォーム Microsoft Azure におけるIoT 向けサービスであり、何十億台もの IoT デバイスと資産を接続、監視、制御し、デバイスとクラウド間において、信頼性の高いセキュアな IoT ソリューションを実装可能とします。

\*「スマートシート」は日本国内における株式会社東芝テックの登録商標です。

\*「Microsoft Azure」は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

\*その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

**【本件に関するお問い合わせ先】**

■ お問い合わせ先

株式会社NTTデータ CCS

人事総務部 広報担当

豊田方(ぶたかた)

Tel:03-5782-9501

コーポレートサイトお問い合わせ先

<http://www.nttdata-ccs.co.jp/contact/form.html>